



戊辰戦争の戦場になった丸森

今年には明治維新150周年の年です。テレビやラジオで、各地のイベント情報もよく耳にします。明治維新150周年、戊辰戦争150周年と言われると西郷隆盛や新撰組、白虎隊などを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。実は丸森町にも戊辰戦争の戦場となった場所があることをご存じですか。

大内青葉の旗巻峠と筆甫が戊辰戦争の戦場となりました。当時、旗巻には大砲四門、仙台藩約1200名と庄内藩、米沢藩が、筆甫には仙台藩約600名がこの地を守っていたと伝えら



旗巻古戦場之碑

れています。新政府軍は当時の最新の武器だったのに対し、仙台藩率いる同盟軍は旧式の火縄銃などを使っていたため、風雨の中での戦いに苦戦しました。反撃の準備をしていた時に、仙台藩が新政府軍に従うことを決め、旗巻、筆甫での戦いが終わりました。

旗巻には旗巻古戦場之碑、当時の村人が戦死者のために建てた戦士塚や大砲を置いた場所などがあり、町の史跡に指定されています。

「出前講座」 & 「ふるさと学習バス」を活用しよう

丸森町には旗巻古戦場の他にも、たくさんの歴史や名所、文化が数多く残っています。魅力ある丸森町を町民のみなさんにもっと知ってもらい、丸森を大好きになってもらいたいと願っています。みなさんの「学びたい!!」のお手伝いとして「出前講座」と「ふるさと学習バス」を行っています。

出前講座



「学びたい」、「体験したい」という要望がありましたら、生涯学習課までお問い合わせください。内容が未定の場合でも打ち合わせをしながら決めることも可能です。団体やサークル、お茶飲み会などに町職員、地域の方を講師として派遣します。お気軽にご利用ください。

ふるさと学習バス



何気なく通っていた場所には、壮大な歴史が隠れているかもしれません。生涯学習課または文化財有識者が役場マイクロバスに同乗して、ご希望の地域をご案内します。原則15名以上の参加が見込まれる団体が対象です。ふるさと丸森の学習へ出発しましょう!!

丸森地区協議会では、読書活動に力を入れています。以前、うぐいすの中でも、読書の大切さをお伝えしました。読書することによって想像力が豊かになり、物事を色んな視点で捉えることができるようになります。しかし、忙しい日々を過ごしていると、読書の時間を取ることはなかなか難しく、子どもに絵本を読んであげる時間もないという家庭が多いのが現状ではないでしょうか。

また、町の「読み聞かせ講座」などを受講したものの、身に付けたスキルを発揮する機会は意外と少ないものです。

そこで、丸森地区協議会では読み聞かせの実践の場を作り、さらなるスキルアップを目指してもらおうと同時に、子どもが絵本に触れる機会にもなる「読書活動実践事業(読み聞かせ)」を行っています。

具体的には月に1度、たんぽぽこども園でクラス毎に読み聞かせをします。町の「読み聞かせ講座」を受講した地域の方々や、お話を得意とする団体へ依頼し、クラスの年齢や特徴を見ながら、たんぽぽこども園の先生と相談し絵本を選んで、子どもたちに喜んでもらえるように毎回工夫しているそうです。読み聞かせの方から「今回はこれを読んでみようかな」と提案されることもあり、意欲的に取り組んでいただいているそうです。



読み聞かせの様子

今後はさらに想像力をかき立てるような内容にしていきたいと事務局の方も意気込んでいる様子でした。

地域人材が輝ける場があるということは、地域の活性化に繋がる良い取り組みだと思います。



キャラバンへ順番に並んで乗り込む園児たち

丸森まちセンにキャラバンカーがやってきた！！

5月23日には丸森まちづくりセンター前の駐車場に絵本をたくさん積んだキャラバンカーがやってきました。これは講談社が行っている全国訪問おはなし隊という事業でスカイブルーとピンクのキャラバンカーにそれぞれ550冊の絵本を載せて全国を巡回しているものです。

子どもたちにいつもと違う形で絵本に触れてほしいという丸森地区協議会の思いで応募し、実現しました。

今回はピンクのキャラバンカーでした。園児たちは青空の下、気持ちよさそうに絵本を手にしていました。

6月のこよみ

- 2日(土) 斎理蔵の講座
- 16日(土) 里山トレッキング
- 17日(日) 丸森町健康まつり(バレー・ソフトの部)
- 19日(火) はつらつ学園

